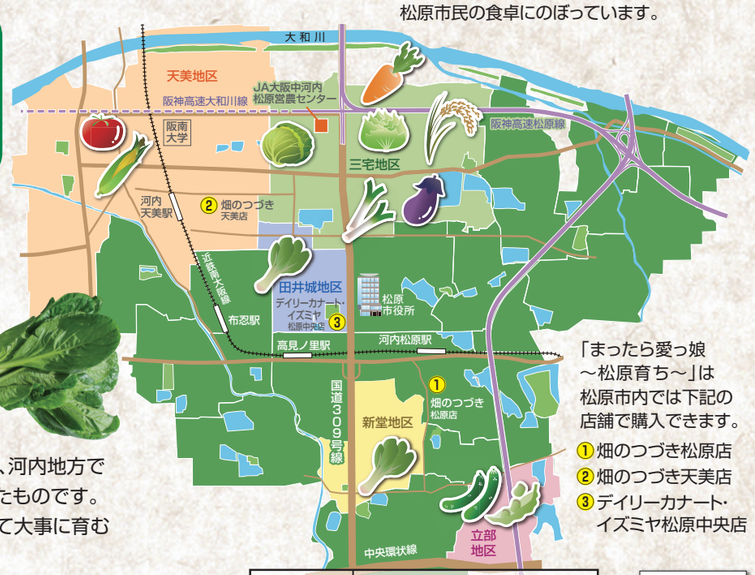
まつばらのブランド野菜

松原市は「ものづくり」のまちです。
市内各地に広がる田畑では古くから
トマトやキャベツをはじめ多種の野菜が生産され
松原市民の食卓にのぼっています。

まったら愛っ娘（まなっこ）～松原育ち～



「まったら愛っ娘～松原育ち～」は
松原市内では下記の
店舗で購入できます。

① 畑のつづき松原店
② 畑のつづき天美店
③ デイリーカナート・イズミヤ松原中央店

「まったら愛っ娘～松原育ち～」の「まったら」は、河内地方で古くから使われている方言で、「松原」がなまったものです。この野菜は、愛娘のように地元野菜を愛情こめて大事に育むイメージから、このように名付けられました。

エコ農産物
大阪府認証
農薬・化学肥料【5割減】
大阪産（なにわ）

「まったら愛っ娘～松原育ち～」は、大阪エコ農産物の認証を受けた松原市のオリジナルブランドです。下記の規定を守り、環境や身体に優しい野菜づくりにとことんこだわって生産されています。

1. 府が作物ごとに定めた農薬使用回数を超えていない。
2. 府が作物ごとに定めた化学肥料使用量を超えていない。
3. 遺伝子組み換え作物でない。

また、まつばらブランド「La Matsubara（ラ・まつばら）」にも認定されており、松原市内外から根強い人気を誇っています。

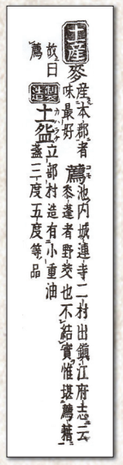
「まったら愛っ娘～松原育ち～」公式HPはこちらから
http://www.manakko.jp

地　区	主な生産物
三宅地区	米、ねぎ、さつまいも、えだまめ キャベツ、にんじん、なす、オクラ にんにく、グリーンピース、レタス きゅうり、こまつな、ブロッコリー
天美地区	トマト、えだまめ、スィートコーン
田井城地区	こまつな、大阪しろな
新堂地区	こまつな、大阪しろな、ほうれんそう
立部地区	えだまめ、モロヘイヤ、きゅうり

※生産物は変動します。

江戸時代の享保20年（1735）発行の『河内志』に松原市域の名産品として、丹北郡全域で麦。池内・城連寺村（天美地区）では薦（こも）、立部村ではカハラケ（素焼きの土器）があると記しています。

『河内志』（1735年）丹北郡より▶



難波葱（なんばねぎ）松原産 NAMBA-NEGI

その昔、大阪、特に難波（なんば）周辺には難波葱（なんばねぎ）の畑が広がり、「葱の海」と呼ばれるほどでした。しかし、生産や収穫に手間がかかり、機械での加工にも向かないことから、徐々に現在流通している青葱が市場で増えていき、難波葱を栽培する農家は減少していきました。そんな中、松原市では、甘みやぬめりが強く柔らかいその味を提供し続けようと生産者が集結。2017年に、JA大阪中河内松原地区難波葱部会が発足し、たくさんのお客様へ最高品質の「松原産 難波葱」をお届けしています。

難波葱は、同年には「なにわの伝統野菜」として大阪府や大阪市から認証、まつばらブランド「La Matsubara」にも認定されています。

購入および提供店は公式HPをご覧ください。　「難波葱 松原産」公式HPはこちらから
http://www.nambanegi.com

※「まったら愛っ娘～松原育ち～」「難波葱 松原産」につきましては、JA大阪中河内 松原営農センターまでお問合せください。
TEL 072-331-1881

まつばら街道さんぽ vol.5

松原名所ぶらり紀行

松原市域の街道を巡りながら、歴史・文化にまつわる名所やブランド野菜の生産地を訪れてみませんか。

丹南3丁目　来迎寺

丹南藩陣屋跡碑
来迎寺山門前

高木正次の五輪塔
来迎寺墓地

松原市域には、東西に七世紀の飛鳥（あすか）時代につくられた日本遺産の竹内街道、その北一、九キロには、やや遅れて設置されたと思われる長尾（ながお）街道が走っています。

南北には、高野山（こうやさん）に向かう三宅から河内松原駅西側を経て、丹南に至る中高野街道、天美から布忍（ぬのせ）・河合に通じる下高野街道が平安時代以降利用されてきました。

市域最北東部の大堀・小川には、摂津の平野方面から南河内の古市方面に至る古市街道があり、江戸時代初期、慶長二十年（一六一五）の大坂夏の陣で真田信繁（のぶしげ）（幸村（ゆきむら））が通った道として有名です。

観光ボランティアガイドの「まつばらまちの案内人」は、各街道沿いに街道名・茶屋跡・一里塚跡を示す木製案内板を設置して、街道さんぽのガイドを行っています。

下高野街道
（天美東8丁目）
天美商店街振興組合トレビアンAMAMI西側入口。隣には江戸時代に設置された地蔵道標がある。 ❺

中高野街道・一里塚跡
（三宅中2丁目阿保5丁目）
摂津の平野から1里（4キロ）の地点に街道をはさんで松などを植えた一里塚が築かれた。 ❶

下高野街道
（北新町1丁目）
西除川沿い。融通念佛宗・大林寺前。川をはさんで布忍神社が鎮座する。 ❻

中高野街道阿保茶屋
（阿保4丁目）
案内板裏面▶ ❷

下高野街道
（南新町3丁目）
はーとビュー（人権交流センター）東側。同地は更池村の新池が水をたたえていた。 ❼

長尾街道
（阿保4丁目）
中高野街道・長尾街道の交差点は茶屋などが並び、阿保茶屋（あおんちゃや）とよんだ。 ❸

竹内街道
（岡5丁目）
竹内街道と中高野街道の交差点。松原南コミュニティセンター前。寛政9年の道標が建つ。 ❽

長尾街道
（南新町1丁目）
新町公民館前。隣には寛政8年（1796）設置の更池村惣井戸がある。 ❹

※既シリーズ「道しるべ紀行」（2014年）/「樹木紀行」（2015年）/「史跡・文化財紀行」（2016年）/「水辺の野鳥紀行」（2016年）

発　行：松原の郷土を知る会　松原市上田5丁目4-1 / （一財）松原市文化情報振興事業団（松原市民ふるさとぴあプラザ）
協　力：松原市・松原市教育委員会・JA大阪中河内 松原営農センター　発行日：2018年3月1日

まつばら街道さんぽ

「松原名所ぶらり紀行」

下高野街道コース（約8km）

河内天美駅 ― 嶋田家住宅 ― 阿麻美許曾神社 ― 我堂八幡宮 ― 西除川遊歩道 ― 布忍神社 ― 大林寺 ― 高見ノ里駅 ― 田中家住宅（高見の里） ― 田中家住宅（南新町） ― 河合神社 ― 尻池記念碑 ― 更池村惣井戸

阿麻美許曾神社 あまみこそじんじゃ
素盞嗚命を祀る。大同年間（806～809）の創建で、天美地区の氏神。明治初年まで神宮寺があった。延喜式内社。

我堂八幡宮 がどうはちまんぐう
厄除宮として有名。応神天皇を祀る。江戸時代から昭和初期にかけて若者が力競べをした力石が残る。

大林寺 だいりんじ
融通念佛宗。河内西国第5番霊場である。市有形文化財の平安時代後期の十一面観音像を安置する。

西除川遊歩道 にしよけがわゆうほどう
西除川に沿って、北は天美西公園から南は松原市民運動広場【岡】までを結ぶ約4kmの遊歩道。

更池村惣井戸 さらいけむらそういど
寛政8年（1796）の井筒があり、多聞院の5代住職龍昌の銘がある。元は西除川の河川敷に存在した。

長尾街道コース（約6km）

布忍駅 ― 大林寺 ― 布忍神社 ― 更池村惣井戸 ― 田中家住宅（南新町） ― 田坐神社 ― 河内松原駅 ― 河内大塚山古墳 ― 反正天皇丹比柴籬宮跡（柴籬神社） ― 阿保茶屋跡 ― 中門の分量石 ― ちちかみばし道標

中高野街道コース（約7km）

屯倉神社 ― 一里塚跡 ― 阿保神社 保田佐久三像 ― 阿保茶屋跡 ― 十二社権現社 ― 王仁の聖堂跡 ― 正井殿 ― 栄久寺 ― 河内大塚山古墳 ― 丹比柴籬宮跡 ― 河内松原駅

※散策コースは一例です。街道沿いの新しい発見を自分なりに楽しみませんか。

布忍八景扁額（市指定文化財）　本殿（府指定文化財）

妻屋秀員墓 つまやひでかずはか
妻屋秀員（1682～1765）は三宅村庄屋の家に生まれた。号を可雪とする歌人でもあり『積翠集』の歌集を残す。三宅霊園南区画。

熱田神社 あつたじんじゃ
社号標石の「熱田神社」は藤澤南岳の書。鳥居西側に江戸時代のキリシタン灯籠が見られる。日本武尊を祀る。【別所】

大堀八幡神社 おおぼりはちまんじんじゃ
鎌倉時代末から南北朝時代の元弘～建武年間（1331～37）に深居神社から分祀したものと伝える。

尻池記念碑 しりいけきねんひ
昭和25年（1950）9月、ジェーン台風で河合の尻池が被害を受けた。その改修工事完成記念碑で「北八下村河合領」とある。

河合神社 かわいじんじゃ
境内に「牛頭天王宮」と刻まれた手洗石が残る。毎年10月の秋祭りには勇壮なだんじりが町内を練り歩く。素戔嗚命を祀る。

※❶～❽は表紙の木製案内板の設置場所。

布忍神社 ぬのせじんじゃ
本殿は大阪府有形文化財に指定されている。拝殿内の「布忍八景」扁額は市有形文化財。素戔嗚命などを祀る。

田坐神社 たざじんじゃ
延喜式内社。呉織・漢織などを祀る。武内宿禰が応神天皇を抱く大絵馬がある。田井城地区の氏神。

河内大塚山古墳 かわちおおつかやまこふん
墳丘長335m、前方部幅230m、後円部直径185mを誇る全国で5番目に大きい前方後円墳。【西大塚】

十二社権現社 じゅうにしゃごんげんしゃ
室町後期の永禄年間（1558～69）、僧秀盛によって創建された。イザナギ・イザナミなどを祀る。【新堂】

屯倉神社 みやけじんじゃ
平安時代の天慶5年（942）の創建。菅原道真を祀り、道真が腰を掛けたという神形石がある。境内の梅が有名。

阿保神社 あおじんじゃ
平安前期、平城天皇 皇子の阿保親王が、当地に住んだので阿保の地名がある。菅原道真、阿保親王社を祀る。

王仁の聖堂跡 わにのせいどうあと
4世紀『論語』『千字文』を伝えた渡来人の王仁が建てたという孔子を祀る聖堂。わが国学問発祥の地として広まる。【岡】

正井殿 まさいでん
岡地区の氏神で、素戔嗚命を祀る。延宝7年（1679）の『河内鑑名所記』に、神木の「連理の松」が記されている。

大師堂 たいしどう
明治時代後半、岡の大師講の人々が建てた。弘法大師像・不動明王像などが堂内に祀られている。【岡】

来迎寺 らいごうじ
融通念佛宗。丹南藩主の菩提寺。初代高木正次の五輪塔がある。境内のいぶきは府天然記念物。丹南藩陣屋に隣接。

丹南天満宮 たんなんてんまんぐう
安土桃山時代の流れをくむ三間社流造の本殿は、市内でも最古級。菅原道真などを祭神とする。

緑の一里塚 みどりのいちりづか
2013年日本最古の官道である竹内街道の開設1400年を記念して立部の街道沿いに整備された。

栄久寺 えいきゅうじ
東本願寺を創始した教如が大坂合戦時、河内の門徒らに出した「教如上人消息」（市有形文化財）がある。【立部】

丹比柴籬宮跡石碑（柴籬神社） たじひしばがきのみやあとせきひ
神社は5世紀後半、仁賢天皇の勅命で創建された。反正天皇の丹比柴籬宮の伝承地とされ、反正天皇などを祭神とする。【上田】

古市街道コース（約7km）

恵我ノ荘駅 ― 北山橘庵墓 ― 厳島神社（一津屋古墳・一津屋城跡） ― 小川・伊勢灯籠 ― 深居神社 ― 若林神社 ― 大堀八幡神社 ― 中山家住宅 ― 熱田神社 ― 妻屋秀員墓 ― 河内松原駅

若林神社 わかばやしじんじゃ
鎌倉時代末から南北朝時代の元弘～建武年間（1331～37）に、深居神社から分祀されたと伝える。

小川・伊勢灯籠 おがわ いせとうろう
古市街道沿いに明治2年（1869）9月、伊勢神宮へお参りする人々の道中安全のため造立。

深居神社 ふかいじんじゃ
奈良時代の養老元年（717）の創建と伝え、境内は古墳の可能性もある。品陀別命（応神天皇）を祀る。【小川】

厳島神社 いつくしまじんじゃ
濠が残り、西側が方形で、東側の本殿が円丘上に建ち、6世紀頃の前方後円墳と推察される。戦国期、三好氏の出城。市杵島姫命を祀る。【一津屋】

北山橘庵墓 きたやまきつあんはか
北山橘庵（1731～91）は一津屋村の医者であり、丹南藩主や狭山藩主、岸和田藩主の診察もした。漢学者・漢詩人としても有名。【一津屋】

「開運松原六社参り」

「開運松原六社参り」は、松原市内5社と天美地区の氏神である大阪市1社をあわせた6社の神社を元旦から1月15日までの間に参詣する行事。期間内に6社を参詣すれば六社参拝記念の「開運干支張り子」を授かる。

竹内街道 日本遺産認定

松原市の南を横切る竹内街道は「日本最古の官道」として2017年に文化庁から日本遺産として認定された。

松原市マスコットキャラクター マッキー

竹内街道コース（約4km）

岡公園竹内街道碑 ― 大師堂 ― 寛政9年道標（街道西側） ― 来迎寺 ― 丹南藩陣屋跡 ― 丹南天満宮 ― 松川長右衛門碑 ― 寛政9年道標（街道東側） ― 緑の一里塚 ― 栄久寺 ― 丹比柴籬宮跡 ― 河内松原駅